

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、専門学校麻生看護大学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成29年 7月 26日

校 長 安藤 廣美

自己点検・評価責任者

校長代行 百瀬 栄美子

学校関係者評価報告書

専門学校 麻生看護大学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 1 -
1. 学校関係者評価の目的	- 1 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 1 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 1 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 1 -
5. 学校関係者評価方法	- 1 -
II. 学校関係者評価内容	- 2 -
基準 1 理念・目的	- 2 -
基準 2 教育の内容	- 3 -
基準 3 教育の実施体制	- 4 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果	- 5 -
基準 5 学生支援	- 6 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 8 -
基準 7 社会的活動	- 9 -
基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）	- 10 -
基準 9 管理運営・財務（本部）	- 11 -
基準 10 改革・改善	- 13 -

平成28年度
(2016年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、専門学校麻生看護大学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属
業界関係者	梅崎 淳子	日本赤十字社 嘉麻赤十字病院 看護部長
高 校	大塚 春生	福岡県立 嘉穂高等学校
地域住民	野見山 昌光	飯塚市内居住 民生委員
卒業生	井原 資子	
保護者	山下 智雅	

※区分別、五十音順、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成 29 年 7 月 5 日（水）14：30 ～ 15：30

場 所： 麻生看護大学校 別館 多目的室

5. 学校関係者評価方法

平成 28 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
 A：ほぼ達成している
 B：達成しているがやや不十分
 C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

教育理念・目的・目標等については、学生要覧等・パンフレット・Web サイト等で広く公表することで透明性を遵守しています。加えて、ドラスティックに変化する社会情勢・医療情勢を鑑み、具体的な教育内容・方法については、常に精査を図ることで社会が求める看護実践能力の向上に向けた教育を遂行している。

主な課題及び改善の方向性

新年度の教育方針に沿う、講義依頼にて、教育理念に沿う教育は、行えていると考えるが、外部講師については、教育理念等の浸透が引き続き課題を残す。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・全体的に結果報告を見ても実際に中身が分からないので評価はしづらい。(報告通りに評価することになる。)

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

基準 2 教育の内容

項目総括

教育目標や人材育成像は「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、医療や看護実践の現状及び社会のニーズを踏まえて各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしている。また、カリキュラム作成においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づく専任教員から構成され、毎週カリキュラム検討会を継続している。ここでは、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得て、且つ企業側(関連病院)教育委員会や臨床指導者委員会等の示唆を得て作成編成を行っている。また「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」の教育時間のほかに、教育外活動を3年間で183時間/設定しており看護科がめざす教育目標到達や人材育成に努めている。カリキュラムは、体系的に編成されており、各科目間のつながりも適正である。科目ごとのシラバスも作成されており講義前に学生に配布し、到達目標・評価・参考資料等の説明も行っている。

主な課題及び改善の方向性

概ね評価基準は達成している。カリキュラム改訂を予測し、年間を通してカリキュラム検討会にて、課題を明確にしている。カリキュラム課題の詳細について、臨床実践能力向上を図るためには、臨地実習の指導方法や評価内容に関して改善が必要である。キャリア教育・キャリア発達を行う中で、実際に進学を目指す学生や卒業後、認定資格を取得する者も存在する。しかし、キャリア教育の定義化等に関しては、実践を文書化し正確な共通認識が出来るように努める必要がある。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

カリキュラム内容が指定されているため、GCBの科目立ては行えないが、本校のカリキュラム(教科内・外)全体に、GCBに関する教育内容が含まれている。課題は、「キャリア教育定義化」「キャリア発達」について共通認識できる文書化の作成が必要である。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教育環境においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」および、自己点検・評価基準に基づき環境整備を行なっている。学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、且つ学校生活における行事や臨地実習先での事故・寮生活における災害に対しては学校保険に加入し、万全の体制で臨んでいる。

学内の流行性感染症については、感染管理認定管理者の助言の基、適切に進めている。また、臨地実習における患者の血液・体液暴露時の対応についても、実習施設のマニュアルに即した対応が可能である、学生の安全管理環境は、十分に備えている。

主な課題及び改善の方向性

昨年の改善点として、自治会主導で物品点検を実施。しかし、点検時期を変更する等で、無理のない物品点検に取り組む必要がある。その他、学内の教材(PC, コピー用紙等)、共有備品の適切な取り扱いについても、自治会の協力を得て引き続き進めていく。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・「感染管理認定管理者」とは、麻生看護大学校のどの位置にいることになるのでしょうか？

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

非常勤講師との情報交換は、学科責任者がメール・口頭等で行っていると共に、年に1回講師会議を開き、年間報告および、次年度の教育方針に沿う講義・指導のお願いを行っている。非常勤講師による詳細な授業報告が文書として残っていない点が課題である。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

自治会主導で物品点検を実施。大掃除と同時進行での物品点検は、繁雑であり数日間の物品点検日を必要とした。今後は、大掃除と物品点検日をわけて行う。

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 3-2-7

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

項目総括

評価・成績・資格・出席状況・退学に関して会議にて担当者から毎月の実施・結果・分析・方針等の報告があり専任教員間で共有を行っている。担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録すると共に教務会議などでも教職員で共有が行えている。

学生の育成には、急性期医療における看護実践能力向上をめざした育成を行っている。カリキュラムの1/3を占める臨地実習は、高度な急性期医療を行う病院(関連病院)で行うと共に、本校と病院が連携して、学生の指導を行っている。卒業後の進路は、ほぼ全員が「関連病院」に入職しており、めざす人材育成が行えている。入職後も「関連病院」と連携し新人看護師教育に関わっている。

主な課題及び改善の方向性

一部の就職活動を行う学生の報告記録を残す必要がある。次年度から、口頭確認に加え記録として残すことに取り組む。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 4-1-3

適用除外

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

基準 5 学生支援

項目総括

学生面接、保護者への説明会、就職に関する支援、奨学金等幅広く学生の支援体制を整えている。左記に挙げた内容に関しても計画的に行われ、その記録も残されている。課外活動に対しても外部からの指導者を招き、積極的な活動が行われている。事実、茶道部では、部員が「第 38 回学校茶道部エッセイ」に投稿し、「学生の部」で表彰されたことや、書道部では、長期休暇中にも学内にて外部指導者と共に練習を行っている。寮に関する支援では、費用も安価であり学生の希望状況からも、学生寮の支援体制が質・量ともに整っていると評価できる。

主な課題及び改善の方向性

平成 28 年度は、「保護者会について『会』の発足について随時判断していく」としていたが、1 回／年の各学年保護者説明会や学校評価委員会でも要望はなかった。今後、1 回／年の各学年保護者説明会を続け、「会」発足等については、引き続き随時判断していく。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・学生寮から強制退寮しなければならない時期がある。この件は、オープンキャンパス時やパンフレット等にも書かれておらず、入学後に知ることになる。近隣に実家があれば良いが、遠方であれば帰省等の問題が発生するのではないか。
- ・寮食の栄養バランスはどうか。管理されているのか。肉食が多いと子供より聞いている。
- ・寮に wi-fi 環境を整備する予定は無いのか。

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、必要な場合に本部から招いている。看護科卒業生のほとんどが、「関連病院」へ就職し、通信課程では、職場推薦による入学のため、就職自体を想定していないため、キャリアカウンセラー等の実際の利用無。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし(実際に留学生等の入学の申し入れ無し)

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

課外活動に対する「支援規程」は、塾共通のものを利用しているが、必要性があれば学生に分るような提示を行う。その他、課外活動に対する人的・財政的支援は、十分に行えている。

小項目 5-1-9

直営の学生寮等、学生の生活支援を行っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

評価基準は全て満たしている。実際の利用状況は、全校生の約 80%である。実際の入寮者以上に入寮希望があることから達成度は高いと評価する。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-2-10

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の就業状況を把握しているか。また、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 特になし

小項目 5-2-12

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

項目総括

学生募集活動は、募集用件を文章化且つ、Web サイトおよび、パンフレット等で公表の継続を行っている。年間を通して、県外も含め積極的に学校訪問を行い、高校生の進路ニーズの把握に努めている。高校生のニーズは、現在の若者の傾向として、在学生の教育に活かしている。学費について、県内の看護専門学校では、安価であり保護者もからも実際の評価を受けている。入試選考基準についても、内規基準を文章化し、基準の評価を行っている。選考結果については、受験者本人、受験校校長へ文書にて連絡且つ、高校へは直接選考結果を説明することを引き続き行っている。

主な課題及び改善の方向性

アドミッションポリシーの掲示について、既に平成 29 年度分のパンフレット・募集要項等は、校正・印刷が終了している。30 年度以降から、パンフレット・募集要項等に分かり易く掲示を行う。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・基準 5 に書いた内容の整備、改善等が学生募集の一材料となるかもしれない。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

アドミッションポリシーを文書化し、教育理念に基づいた内容になっているが、入学者の目につきやすいような掲示が必要である。今後、募集要項等に分かり易く掲示を工夫する。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

実習指導者講習会・専任教員研修会へ講師として派遣する行政との連携は、継続して行なっている。また看護学校協議会理事会との連携のもと、各ブロック活動も定例化し教育の質向上にも貢献を続けている。学生のボランティア活動は、関連施設および地域との連携のもと、毎年各学年へ引き継がれるという常設ボランティア活動が根付いている。

主な課題及び改善の方向性

今後も積極的に地域貢献・社会活動を目的とした公開講座、ボランティア活動は実施していく。ボランティアの活動記録について、一部、実働状況が分かりにくいところがあるため、29 年度から改善に努める。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果：A

■コメント

地域におけるボランティア活動にも積極的な参加促しと、実際の学生参加の事実もある。しかし、これらが明確に分かる記録物について、一部不足している点がある。今後は、記録として残すなど改善に努める。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

看護科では、学校祭で公開講演を行い、看護科通信課程では、公開講義を行っている。また、関連病院外からの申し出があった際も、聴診器、赤ちゃんモデル人形等の教材の貸し出しを行い、地域貢献を推進している。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

=====

基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）

=====

項目総括

学校運営に関しては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づいた運営であり、県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対処を遵守しており、極めて健全なる運営であると判断する。

平成25年度から引き続き人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めている。

学校の財務運営についても、毎年年度予算を適正に執行し、予算管理運営を行っている。

主な課題及び改善の方向性

自己点検・評価で基準を満たしているが、一般社団法人日本看護学校協議会から出された、「自然災害等不測の事態への対処についてのガイドライン」では、不足する内容も含まれており、今後同ガイドラインに即した取り組みを行っていく。また、入職者には、入職時のオリエンテーション内容に含める等で、周知の漏れが無いように努める。本校の図書について、これまで本校単独で全ての図書の管理をおこなっていたが、今後、本部の資産台帳と合致させて「共通の資産コード」として管理を行っていく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

=====

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

自己点検評価基準評価を満たしているが、一般社団法人日本看護学校協議会から出された、「自然災害等不測の事態への対処についてのガイドライン」では、不足する内容も含まれており、同ガイドラインに即した取り組みが必要である。入職時のオリエンテーション内容に含める等で、周知の漏れが無いように努める。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

入職時のオリエンテーション内容に含める等で、周知の漏れが無いように努める。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

入職時のオリエンテーション内容に含める等、周知の漏れが無いように努める。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

■自己点検・評価結果：A

■コメント 特になし

基準 9 管理運営・財務(本部)

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に開催し、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果: B

■コメント 人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント 文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント 今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。

図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

=====

基準 10 改革・改善

=====

項目総括

塾の自己点検・評価委員会の計画に準じて改善活動を進めている。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ等で共有する機会を設けている。

主な課題及び改善の方向性

今後さらに自己点検・自己評価実施が行えるよう努める。現在は、各部署管理者が中心となり進めているため、管理者以下の教職員へ「自己点検・自己評価」項目を意識した取り組みが課題である。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし

=====

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

=====

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント 特になし